

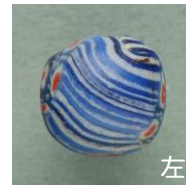
あそだひがしさんごうふんいぶつ
もさいくだま
安造田東三号墳遺物
モザイク玉

5～6世紀か?

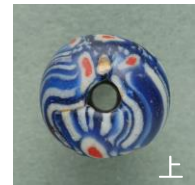
満濃地区 羽間



表



左



上



右



下



裏

あそだひがしさんごうふんいぶつ だま
安造田東三号墳遺物モザイク玉は、
まんのう町羽間の古墳、安造田東3号
ふん しゅつど 墳から出土したモザイクガラス玉(複
さう いろ もち 数の色ガラスを用いてモザイク文様の
そうしよく ほどこ たま 装飾を施した玉)です。

へいせい 2 年の しゅつど じ 平成2年の出土時に、日本に類を見
ない複雑な構造であることから、西アジ
アよりもたらされたものではないかと
ちゅうもく あつ どう じ ちよう き 注目を集めました。当時の調査技
じゅつ 術では、はっきりとさせることができ
ませんでした。

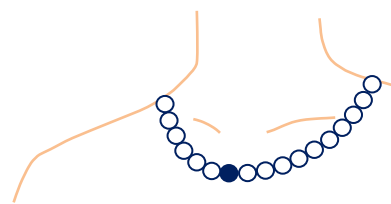
しんねん なら ぶん か ざいけんきゅうじょ
しかし近年になり奈良文化財研究所
さいしん ぶんせきさう ち つか し ぜん か がくてきちよう
が最新の分析装置を使い自然科学的調
さ じっし にし さん 査を実施したところ西アジア産である
ことが判明し、平成27年7月1日発表
されしました。

こくない ほか た ど つ ちようもりつちやま こふん
国内では他に、多度津町盛土山古墳、
みやぎ けんわく や ちようおい どよこあな ぼ
宮城県涌谷町追戸横穴墓よりモザイク
ガラス玉が出土しています。

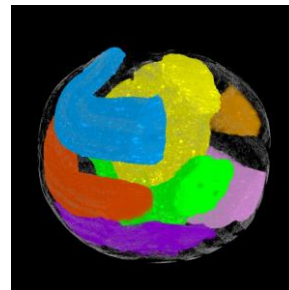
げんざい あそだひがし さんごうふん いがい
現在のところ、安造田東3号墳以外
にし たか ぎ じゅつ せいさく
に、西アジアの高い技術で製作された
だま しゅつど れい あ
モザイク玉が出土した例は有りませ
ん。

なら ぶん か ざいけんきゅうじょ ぶんせきけつ かようてん
奈良文化財研究所の分析結果要点

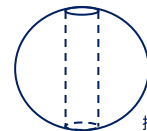
せいさく ぎ ほう しゅるい ちゃくしよく ぎ ほう
制作技法、ガラスの種類、着色技法のい
づれも西方のガラスと関係が強いことが明
せいはう かんけい つよ あき
らかとなりました。とくに、ガラスの種類が
けい しよくぶつばい
ササン系の植物灰ガラスであったことから、
にし ちよう ちよう ちよう
西アジア(ササン朝ペルシアの領域)
せいさん ち だいいちこう ぼ
が生産地の第一候補となりました。



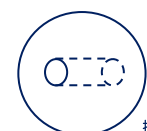
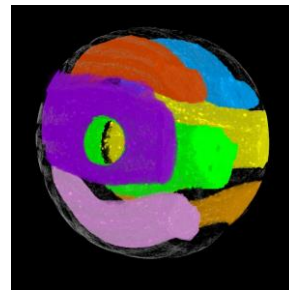
装飾例



モザイク玉は大きく数えると
7本のガラス棒が合わさり
作られています。CT画像は
その7本にそれぞれ違った
色を付けて表しています。

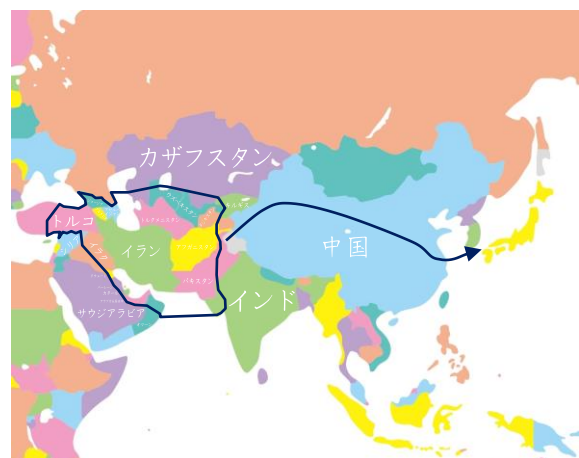


撮影の向き



撮影の向き

CT画像



ササン朝ペルシアの領域



実物大

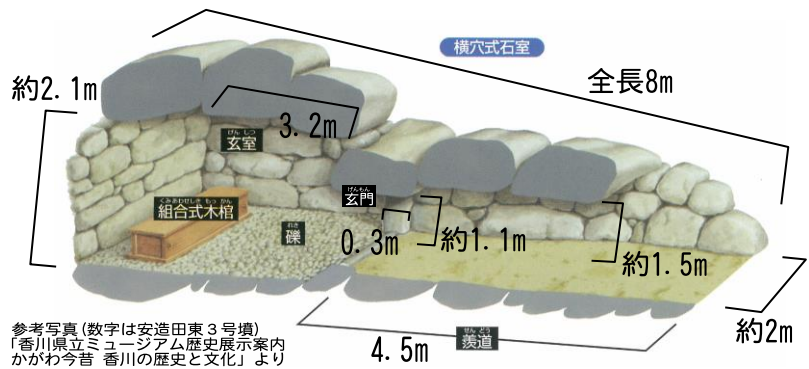
実物は直径1.45cm

まんのう町立図書館に
レプリカ展示中
午前10時～午後6時・火曜日休館

あそだひがしさんごうふん 安造田東3号墳

7世紀初頭

満濃地区 羽間



あそだひがしさんごうふん せいししょとう つく
安造田東3号墳は7世紀初頭に造ら
れた横穴式石室をもつ円墳です。丸亀平
野の最奥部に位置し、讃岐山脈を經由
する交流ルートの入口である、交通の
要所にあたります。古墳上からは丸亀
平野と瀬戸内海を望むことができます。

古墳の規模は県内で中堅クラスに位
置し、被葬者は丸亀平野最奥部の上位
階層と考えられます。

石室から子持ち高坏、台付三連壺を含
む約70点の須恵器、土師器、直刀・鏢・
鉄鍬・馬具などの鉄器、銀環・ガラス製
装飾品など多量の副葬品が出土しま
した。西アジア(ササン朝ペルシアの
領域)産モザイク玉は、玄室の中央部
から出土しました。

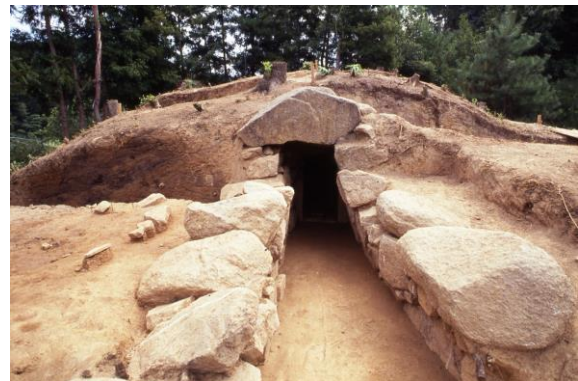
平成2年に発掘調査が行われ、平成
19年11月30日にまんのう町有形文化財
に指定されました。

墳丘・石室ともに中堅クラスの規模
でありながら、古代より続く交通の要所
に立地したためか、同時期・同規模の古
墳と比較すると副葬品の量・質ともに
優れています。

モザイク玉の入手経路については不
明ですが、舶載品の普及度合いを考え
る上で重要な事例となっています。



雑木伐採後の墳丘(南より)



羨道部(西より)



羨道部遺物出土の様子(西より)